日本統合医療学会 会報
IMJニュース
No.43
2024年2月10日発行

編集・発行　一般社団法人日本統合医療学会広報委員会 委員長　川嶋みどり　URL：http://imj.or.jp/
〒 170-0003　東京都豊島区駒込1-43-9　駒込TSビル 4階　一般財団法人口腔保健協会内
一般社団法人日本統合医療学会事務局　E-mail：imj@imj.or.jp　TEL：03-3947-8891

会　告

今年は理事選挙の年です。

今回選挙の理事の任期は2024年総会（12月）～2026年総会です。
あなたの選挙権と被選挙権を正しく行使するために
3月4日までに必要な準備についてのお知らせです。

本学会では2021年12月の定款改正により，理事を選挙で選ぶことが決まり，2022年に初めて選挙が実施されました。今回は2回目の選挙となります。前回の反省を踏まえた改善点並びに選挙方法の詳細に関しては，2023年11月発行の学会誌，および学会ホームページの会告を参照頂きたいと存じます。

この誌面では，理事選挙に関してより具体的なご理解の上で，会員みなさまが選挙の準備をされますよう，そのポイントをお伝えいたします。

新しい理事への積極的な立候補，ならびに個々の会員の投票権の行使による公正な選挙が行われますよう，会員皆さまのご協力をお願いいたします。

★ポイント1
オンライン投票

投票までの準備
【会員であること】
2023年9月30日において，本学会に所属する正会員，賛助会員（代表者1名）であり，投票時にも会員であることが必要です。
学生会員，名誉会員等は選挙権がありません。
【選挙権者登録を済ませること】
投票するためには選挙権者登録が必要です。
（1）メールアドレスを事前にご登録ください。
　オンライン選挙の為，今回の選挙で使用するメールアドレスを予め以下のフォームでご登録いただく必要がございます。選挙権者登録を期日までに行わないと，正会員や賛助会員であっても投票ができません。
（2）会員番号をご用意ください。
　会員番号は，年会費請求書（控えも同様）のお名前の下，または学会誌等学会からの郵送物の宛名下にある6桁の番号です。会員番号に誤りがあると投票できませんのでご注意ください。
（3）選挙権者登録フォームからご登録ください。
　選挙権者登録締切は**2024年3月4日（月）**です。
　選挙権者登録フォーム（下記URLか右記QRコードをご利用ください）
　https://oha1.heteml.net/imj/form_election/

選挙権者登録フォーム

★ポイント2

会員資格区分によって当選者の定数があります。区分ごとに投票となります。

会員資格区分により3つの区分に分けて選挙が行われます。

区分A	医師，歯科医師，獣医師
区分B	薬剤師，看護師・准看護師，保健師・助産師，リハビリ系（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・技師装具士），検査・補助系：医科（臨床検査技師・診療放射線技師・臨床工学技士・視能訓練士），検査・補助系：歯科（歯科衛生士・歯科技工士），管理栄養士・栄養士，福祉系（介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士），救急救命士，公認心理師，日本伝統医療系（鍼灸師・柔道整復師・あん摩マッサージ指圧師），その他：国家資格あり
区分C	伝統・補完代替医療提供者①（中国伝統医学・アーユルヴェーダ・アロマセラピー），伝統・補完代替医療提供者②（カイロプラクティック・オステオパシー），伝統・補完代替医療提供者③（ヨーガ・気功・エネルギー療法），心理系（臨床心理士・産業カウンセラー），その他：国家資格なし

今回の区分別理事定数は以下の通りです（2023年12月15日理事会で決定）。

区分A　10名，区分B　6名，区分C　5名

各区分とも立候補者数が定数以内の場合には信任投票による選挙，定数を超える立候補者数の場合には，投票数上位から数えて定数者が選ばれます。

★ポイント3

被選挙権者は立候補制です。

被選挙権者は，上記区分に基づく立候補制です。

立候補の条件は

（1）2023年9月30日において，それまでの年会費につき，未納がない会員であること

（2）2023年9月30日において，会員歴が3年以上ある者

（3）「理事候補者の推薦に必要な書類」を2024年3月4日(月)までに事務局へ郵送した者（消印有効）

「理事候補者の推薦に必要な書類」をダウンロードしてご作成の上，締切までに事務局までご送付ください。

理事候補者の推薦に必要な書類（以下か，右記QRコードをご利用ください）

https://imj.or.jp/imj/election

（「理事（任期：2024年12月総会～2026年12月総会）選挙立候補届」からダウンロード願います。）

理事選挙に関する詳細は適宜，ホームページに掲載して参ります。下記URLか，右記QRコードにてご確認下さい。

https://imj.or.jp/imj/election

理事候補者の推薦に必要な書類

理事選挙会告

寄稿

第15回JIMTEF災害医療研修ベーシックコースを受講して

｜佐藤　美弥子｜
日本ヨーガ療法学会常任理事

2024年幕開けのまさに1月1日午後，石川県能登地方を震源とする大地震が起き，お正月気分は一瞬にして吹き飛び，テレビのニュースに釘付けになっていました。

12年前の東日本大震災の時は現地で被災し，断片的な情報しか届かず，周りの状況がどうなっているのか分からないまま，繰り返し続く余震に不安を覚えながら過ごした記憶が蘇り，被災した方々にあの時の自分が重なり，祈るような気持ちで過ごしました。

昨年の7月24日～8月31日までの期間，JIMTEF（公益財団法人国際医療技術財団）災害医療研修を受けさせていただく機会にめぐまれ，そこで学んだことなどが頭

の中をよぎり，政府や自治体の対応がニュースで流れるたびに今までとは違い，臨場感を持ってイメージできていることに気がつきました。このベーシックコースの研修の目的は，医療技術分野のネットワークを活用し，大規模災害発生時の多種多様な状況に適切に対応できる技術・知識を有する医療技術者の育成を図るために災害医療の対応の基礎知識を学ぶという内容でした。

第1回目の講義では災害医療の概論について学びましたが，災害対策本部の立ち上げにしても消防，警察，医療など，各機関での縦の指揮命令系統と各レベルでの横の連帯がいかに大切かということや，混乱しているなかで情報を正しく伝達することの大切さ，その情報を基に迅速にアセスメントし対応いていくことの重要性なども教えていただきました。

災害による停電や断水が基本的な生活や社会機能に影響を及ぼすことは誰にでもわかることですが，医療提供に及ぼす影響の大きさについては愕然とするほどでした。例えば，第16講座“震災と透析”の講座では，一人1回の血液透析で150L以上の水を必要とし，電気は準備段階から終了後の洗浄工程まで安定した供給が必要であること，さまざまな装置や配管など大掛かりな設備が必要であり，非常事態では緊急離脱が求められ，医療施設の整っている受け入れ先を探し，緊急移送する場合があることなども解説されました。

透析に限らず，東日本大震災の時も災害と医療に関する問題は取り上げられていたので，ある程度は理解していましたが，多岐にわたる高度な専門性が必要ということを改めて知りました。

また，2011年の東日本大震災の時に日本に入ってきたという“スフィアプロジェクト”と呼ばれる人道支援の基本原則についての講義はとても印象深いものでした。1994年のルワンダ大虐殺がきっかけで提唱され，救えるはずの命を救えなかったことを教訓に，災害支援における行動の質を向上させ，支援しようというものです。ふだん何気なく使っている“平等”と“公平”の違いなども分かりやすく解説されていて，場当たり的な支援は真の支援ではないという一節が心に響きました。

全20回のコースでは，各講義が終わる度に簡単な理解度テストとアンケートの提出が必須でしたが，毎回の講義はとても印象的で多くのことを学ばせて頂きました。

全20回の講義内容を参考までに記しておきます。

1．災害医療概論　2．東日本大震災・東京電力福島第一原発事故 に対する医療対応　3．避難所アセスメント基礎　4．災害時の栄養　5．災害と生活機能　6．災害時のメンタルヘルスケア　7．災害医療コーディネート　8．本部運営と記録　9．熊本市における救護班の調整と受援経験　10．被災者と医療人の円滑なコミュニケーションのために　11．スフィアプロジェクト　12．エコノミークラス症候群　13．災害対策の国際的潮流　14．災害と感染症　15．災害と口腔ケア　16．災害と透析　17．災害と高齢者　18．高齢者診療の実際　19．災害診療情報－JSPEEDを中心に　20．新型コロナウイルスパンデミックに対する医療対応

寄稿

JIMTEFに参加して

松本　清香
一般社団法人
全日本カイロプラクティック学会

能登の大地震のニュースに心が締め付けられる思いをし，続いて羽田空港の事故の情報も入り，悲しい年明けとなりました。

私は，昨年の夏，国際医療技術財団（JIMTEF）の災害医療研修ベーシックコースを受講し，大規模災害時に当たって医療技術者に求められることや多職種連携などに関して学びました。ただ，あまりにも豊富な内容で，その多くは初めて聞くことばかりでしたので，正直なところ十分に理解するのは大変でした。そこで，実際に私自身がかかわった災害（2018年7月，岡山県周辺を襲った西日本豪雨災害）支援の際に実際に感じたこと，行ったことと照らして考えてみることにしました。

あの災害は，100年に1度という雨量で河川が氾濫し61人が亡くなったうえ，住宅8,000棟以上が全半壊し，家屋の風水害では戦後最悪の大惨事となりました。

災害に遭遇した被災者は，災害に遭った瞬間から「被災者」です。その被災者の一番の望みは「健康であること」だと思います。ふだんから私は，親のいない子どもや施設で暮らす子どもたちのボランティアの会で活動していましたので，災害にあたっていち早く動くことができました。私がかかわった施設では「衛生管理には人の手が必要です。道具は徐々に揃います。手が欲しい」と言われました。

避難所も例外ではありませんでした。私たちボランティアは，当初は規則のために避難所の中に入れてもらえませんでしたが，その後見た小学校や児童館などの避難所では，さまざまなスタッフが動き回っていました。しかし，人手不足で衛生管理に手が回らず，土砂が建物内に入り込み悪臭を放っている現実もありました。

トイレを控える人がいたり，動かない人がいて体調が悪化している人もいたようです。

しかし，最初に避難所に入ることができる方は避難所の体制つくりや運営に集中するため，被災者の本当に困っている状態に関する訴えを聴く余裕はないようでした。災害に遭った方から助けてほしいと連絡があったのは災害がおきて数日後のことでした。

内容は，「災害にあった家の片づけをしたくても，小さな子どもを置き去りにはできない。憔悴した高齢者では子どもの動きについていけないのでどうしたらよいか」というものでした。

避難所運営の有資格者が規律に沿って活動されていることは尊敬します。しかし，被災者たちの，口に出しにくい切実な願いや思いを汲み取って，その声に耳を傾けてほしいと思います。

こうしたことを思いだしながら，このセミナーを通じて感じたことは，できるだけ早期に避難所を設置し，運営する側と被災した方とを結ぶ役割の必要性でした。そして，その役割を果たす上で，IMJの会員であれば，個々の専門の枠を離れて，資格に関係なく常に被災者ファーストの気持ちを忘れずに活動できるのではないかと思った次第です。私はIMJにかかわり，日頃から患者さんの健康を第一に考えて活動していますが，このセミナーを通じて，これまで以上に「一番は被災者」という気持ちを忘れずにかかわりたいと思った次第です。

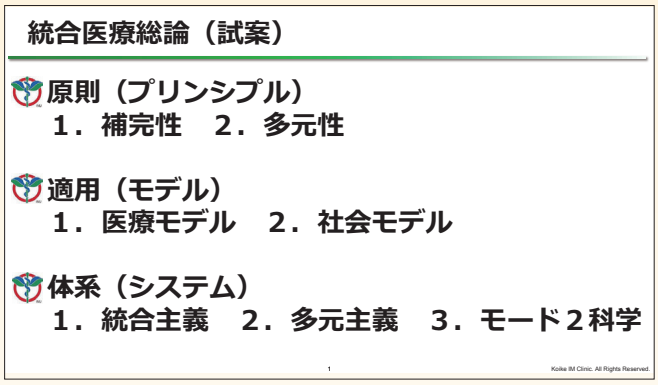
寄稿

シンポジウム「統合医療学総論の構築」と総論をめぐる近況報告

小池　弘人
統合医療学総論構築委員会

統合医療とは何だろうか，この当たり前の疑問に対して確固たる基礎を与えるのが総論の構築という作業になります。一見，私たちの具体的な実践とは無関係の問題のように感じますが，これが曖昧な状態では，普通に「医療」と表現した場合との相違すらあやふやになってしまいます。こうした状況に対するメルクマールとなるものが，総論の構築なのです。

昨年の静岡大会においては，京都大学大学院文学研究科の伊勢田哲治教授に「証拠に基づく統合医療の哲学と倫理」と題して，科学哲学という分野から，統合医療を評価，さらには重要な提言の数々をしていただきました。統合医療の実践にあたっては，科学的か否かを問わず何らかの証拠は必要であり，これは従来「エビデンス」と称されたものに限定されるものではない，ということが主な内容でした。シンポジウムにおいてはこれを受け，小野直哉理事から「日本の相補（補完）代替医療及び統合医療の変遷－日本の統合医療は何処から来て，どの様なもので，何処へ行くのか」にて統合医療への歴史的変遷が語られ，総括として小池が「統合医療学総論の構築」として総論のアウトラインを提示しました。その後，参加者との活発な質疑応答も行われ，ここでの議論をもとに，表に示した総論の骨子（試案）を作成しました。



この試案の詳細は，認定講習Part1において公開，解説しますので，ぜひとも関心のある方には受講していただき，ご意見，ご感想をお願い致します。皆様の力で，共に統合医療の基礎を構築していきましょう。

事務局だより

【2023年10月～2024年1月までの会議等】

- 2023年11月14日　第1回業務執行理事会（2024年度）
- 2023年12月15日　第1回学術大会等あり方委員会（2024年度）
- 2023年12月15日　第1回総務庶務委員会（2024年度）
- 2023年12月15日　第1回認定制度委員会（2024年度）
- 2023年12月15日　第2回業務執行理事会，第1回理事会（2024年度）
- 2023年12月17日　第27回学術大会時総会（2024年度）

【2023年10月～2024年1月までの学術大会・研修・セミナー等】

- 2023年11月26日　基礎医学検定パイロットテスト（オンライン）
- 2023年12月16日～17日　第27回学術大会（静岡・グランシップ）

【今後の予定】

- 2024年3月9日　認定研修Part1（オンライン）
- 2024年3月10日　認定研修Part2（オンライン）
- 2024年4月20日　認定研修Part3（オンライン）
- 2024年4月21日　認定研修Part4（オンライン）
- 2024年6月15日　認定研修Part5（オンライン）
- 2024年6月16日　認定研修協働師Part5（オンライン）
- 2024年6月16日　認定研修筆記試験（東京予定）
- 2024年12月14日～15日　第28回日本統合医療学会学術大会・総会（栃木・宇都宮）

※認定研修申込受付中です。QRコードをご利用ください。

編集後記

●お屠蘇気分を吹き飛ばした震度7の大地震と津波に崖崩れ。美しい能登半島が一変し，被災者の方たちの喪失感と健康不安が続いています。長期展望のもと統合医療として何ができるかが問われています。一方，学としての統合医療の総論を究める道も提示されます。会員としての立候補と投票の権利を活かして，次期の役員選出を是非成功させましょう。3月4日の選挙権登録と立候補受付の締め切り日をお忘れなく！（川嶋みどり）